

令和5年度第4回 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会議事録

- ▽日 時 令和5年12月15日（金） 午前10時から午前10時50分まで
- ▽場 所 府中市役所 おもや4階A401会議室
- ▽出席委員 山本会長、齋藤副会長、足立委員、大山委員、川口委員、清田委員、恒川委員、深美委員、福井委員、高柳委員
- ▽出席職員 町井建築施設課長、森影建築施設課長補佐（兼）公共施設マネジメント担当副主幹（兼）文化・スポーツ施設老朽化対策担当副主幹、風間建築施設課公共施設マネジメント担当主査、奥建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当主査、武内建築施設課事務職員、佐藤建築施設課事務職員
- 【関係課】山田総務管理部次長（兼）財産活用課長、舟山財産活用課長補佐、菊池財産活用課財産活用担当主査、桑原地域コミュニティ課文化センター老朽化対策担当主査、藤原地域コミュニティ課中央文化センター所長、古田地域安全対策課長、斎藤文化生涯学習課長補佐、古塩地域福祉推進課長、下寄健康推進課管理係長
- ▽傍 聴 者 1名
- ▽内 容
- 1 あいさつ
 - 2 報告書（素案）について
 - 3 その他

【配布資料】

資料1 報告書（素案）

会議録

(事務局)

ただいまより「第4回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会」を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、本協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

まず、事務局より配付資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご確認ください。

※配布資料の確認

それでは、進行につきまして、会長、よろしく願いいたします。

【次第1 あいさつ】

(会長)

それでは、第4回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会を開催いたします。

始めに、本日の委員の出席状況と、前回の議事録について事務局から報告をお願いします。

(事務局)

本日の委員の皆様の出席状況につきまして、欠席委員はございません。出席委員の数が過半数に達していることから、本日の会議は有効に成立することをご報告いたします。

次に、前回の協議会の議事録につきましては、事前に委員の皆様にご確認いただき、文言修正等させていただいたものをお配りしております。なお、議事録の黄色の部分につきましては、非公開となります。修正点などございましたらご指摘くださいますようお願いいたします。

(会長)

前回の議事録について修正箇所などありましたらお願いします。

※意見なし。

それでは、無いようですので、続いて、本日の傍聴の申し出の状況について、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

本日の協議会の傍聴ですが、広報やホームページ等で募集いたしましたところ、1名の応募がありました。委員の皆様の承認を得て、入場いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

※異論なし。

(会長)

ご入場いただきください。

【次第2 報告書(素案)について】

(会長)

それでは本日の議題に入らせていただきます。始めに、報告書(素案)について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料1について説明させていただきます。

※資料1について説明

(会長)

ありがとうございました。それでは事務局の説明を受けて、報告書(素案)について、委員の皆様と議論を進めていきたいと思えます。委員の皆様、ご質問やご意見はございますか。

(委員)

まず1点目、第5章の内容は本報告書の結論であると理解しています。当協議会としての結論を論じる章ですので、「当協議会としては、この方向性が最も望ましいとの結論に至りました。」等の表現を用いて、協議会としての結論の主旨をより強調すべきだと思います。また、第4章の最後の方の45頁、46頁に、取組手法の検討の過程で出た各委員の意見が四角で囲って記載されていますが、各回の議事録は公表され、それを見れば、各委員の発言内容は分かりますので、この報告書にそれ自体を記載する必要はありません。むしろ、第5章の中の結論に至る理由付けとして、各委員の意見そのものでなく、それらを踏まえて整理したことを明確に記載すべきではないでしょうか。

2点目、49頁の生涯学習センター(学習機能)については諮問の範囲に入っていないため、あくまで参考という取扱いと認識しており、記載の有無及び記載場所が適当か検討をお願いします。記載するのであれば、結論の部分について協議会が意見を提起したように受け取られかねない表現はやめていただきたい。行政側が報告をして、協議会としては報告を受けただけです。協議会としての意見のようにまとめられるのは不適切だと感じます。

3点目、30頁の中央文化センターのまとめにある、ひばりホールについて「ホール機能だけでなく多目的に利用できる」とは、具体的にどのようなものを想定しているのでしょうか。

(会長)

まずひばりホールについて、「ホール機能だけでなく多目的に利用できる」とは固定席を設けずに使用する等をイメージしているということでしょうか。

(事務局)

例えば、現状のひばりホールは階段状になっていますが、引き出し式の可動席等よるフラットなホールであれば、多様な使い方が可能になるといったように、形態に応じてフレキシブルに使用可能な室とすることが望ましいと考え、記載しております。

(会長)

第5章については「望ましいです。」等の表現に修正をお願いします。また、生涯学習センター（学習機能）の内容を第5章で整理することに違和感を感じます。一方で章立てするレベルの内容ではないため、記載場所は検討が必要です。

(委員)

割愛することは可能でしょうか。

(委員)

関連性がある内容ですので、割愛しない方が良いと思います。

(事務局)

諮問事項ではないため、記載場所としては、参考資料として記載する、または、複合施設に関する内容ですので、対象施設の課題として整理する等が考えられます。

(会長)

35頁に課題「(5) その他」として記載するのはいかがでしょうか。

※異論なし

(会長)

それでは35頁に「(5) その他」を追加し、生涯学習センター（学習機能）について整理することとします。

本日は報告書（素案）の内容ですので、各委員からご意見をいただきたいと思います。

(委員)

45頁の「3 取組手法の検討」について、3施設の複合化をする場合、利用客の動線に配慮する必要があると考えます。例えば、保健センターの利用者だと体調が優れない方の利用

が想定されますが、市民活動の場として自由に利用できる場と動線が混在するとトラブルにつながる可能性もあるのではないかと思います。配慮事項として追記する形になると思いますが、意見させていただきます。

(会長)

複合化に伴い、動線計画として配慮すべ旨の追記をお願いします。

(委員)

非常によくまとめられています。特に意見はありません。

(委員)

46頁の主な意見について、民間商業施設の駐輪場は売場面積に応じた附置義務として設置される駐輪場ですので、施設利用者の利用を前提としたものと認識しています。府中駅を通勤通学等で利用する方の駐輪場は、公共が補う必要があるという記載に修正した方が誤解は生じないと思います。

(会長)

駐輪場については設置目的を踏まえた上で修正をお願いします。

(事務局)

事務局で修正させていただき、次回、確認いただきたいと思います。

(委員)

本報告書は、市民にもわかりやすく整理されていると感じました。市民の利用ニーズを踏まえて、現状稼働率が低い場所についても検討いただいているため、今後がとても楽しみだと感じました。

(委員)

施設の複合化により利便性の向上が見込めますが、どこに行けばどういった活動ができるのか、周辺施設との違いは何かが分かると、市民に利用されやすくなると考えます。利用用途が分かりづらくならないように整理をお願いします。

(会長)

その点については補強して整理いただければと思います。

(委員)

非常によく整理されていると思います。ふれあい会館が中央文化センター用地に複合化される場合、位置が変わることにより、駅からの利便性にも変化があると思いますので、不便が生じるようであれば、ちゅうバスのバス停設置を検討する等、利用者の立場に立って交通利便性の点も検討いただきたいと思います。

(委員)

利用実態についても十分に整理いただいているため、本来の意味で有効活用されている室かを検討できた点が非常に良かったと思います。3施設の複合化については多様なニーズがあり、複合化パターン②について、今後実務的な検討を行うことができると思いますが、府中駅北第2庁舎については、パターン①として、余剰スペースを民間事業者へ貸付しつつ、市が活用を継続するとしています。何をどのように使うかという具体的なイメージが明確でないと感じます。市民団体の方の活動の場としても利用される可能性があると思いますが、その中でいくつか意見があります。

1つは、市民団体の安定的な活動場所を確保することはまちづくりの面でも重要でありますが、他にも市民活動の場がある中で、この場所で行うべき市民活動はどのようなものなのかを検討する必要があるということです。

2つ目は、市民団体の場合、長期にわたって定期的に活動し続けることは、必ずしもどの団体でもできるものではありませんが、施設の利用は新陳代謝が必要だと思います。そのため、既得権等により特定の団体が利用するのではなく、新しい団体が柔軟に入居できるような枠組みとすることが望ましいと思います。活動状況を定期的に確認しながら、入居団体が適切かを判断することが、公共施設を有効に活用するという意味で必要です。今回の報告書に記載するかは別として、今後の検討を進める上で必要であると考えます。

(委員)

各施設ライフサイクルコストの観点から、報告書の内容としては望ましい形になっていると思います。32頁の「会議や打合せ等のオンライン化に伴い、Wi-Fi等の通信環境に対するニーズがありました。」について、別の案件で新施設にフリーWi-Fiが設置されず、非常に使いづらいと意見されている施設がありました。本頁の結論の中で、活動場所の整備の後に(Wi-Fi等の通信環境)を追記して、対応漏れがないようにしていただきたいと思います。

(会長)

フリーWi-Fiだけでなく、DX関連の内容を整理いただければと思います。全体としてはよく整理できていると思います。大きな定員設定で、少人数しか利用していない室に関しては、ある程度の面積の部屋で、8割程度の人数で利用し、場合によっては可動間仕切りで部屋数を調整する方向性で整理いただきたいと思います。最後にご意見があればお願いします。

(委員)

今回の諮問の内容とはずれませんが、府中市の公共施設の耐久年数は 60 年となっていますが、長寿命化などが行われていますので、耐久年数の設定の見直しも今後検討が必要かと思えます。

【次第3 その他】

(会長)

それではその他について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

次回、第5回の協議会の開催日程についてですが、以前調整させていただいたとおり、2月15日(木)とさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(会長)

それでは、委員の皆様、よろしくお願いいたします。事務局は次回、修正した報告書を提示をお願いします。

(会長)

これで第4回の協議会を終了いたします。長時間に渡り、ご議論いただきありがとうございます。

以上